カッター

CUTTER

(ターフタイプペレニアルライグラス)

開発の過程

カッターは、ピックシードウエスト社の研究所において6つの個体を合成させた品種です。元となる親株を選抜したのは1989年で、PICK89-4として試験されてきました。カッターは、新しいタイプの品種のなかでも最先端の品種の代表として、また長年の厳しい育種の最終的な品種として商品化されました。

特徴

カッターは特に高得点のランキングに位置する新品種です。最新のNTEPテストの結果、極めて濃緑色であることが認められています。カッターは大変きめの細かい、細葉の葉を呈し、若干低成長の性格を持っています。カッターは冬期間の厳しい条件に優れた抵抗性を持ち（カナダで実証）、同時に高温の気候においても優れた抵抗性をあわせ持っています。

病気、虫害、ストレスに対する抵抗性

カッターは、“高エンドファイト”（通常エンドファイト感染率90%以上）のペレニアルライグラスです。このために葉や茎を食害する害虫から、農薬等の手助けなしに抵抗性を示します。またカッターの大きな特徴の一つとして、大変優れた乾燥抵抗性が上げられます（123品種の試験の中で一位）。それは真夏の高温、多湿の気候に適応し、ピシウムやブラウンパッチなどの病害に対して優れた抵抗性を合わせ持っているということなのです。

使用場所

カッターは、ゴルフ場のみならず、競技場、遊戯場、公園、家庭の庭など、すぐに使いはじめなければならないと同時に、魅惑的な美しい芝を必要とする場所に最もお薦めする芝です。ケンタッキーブルーグラスや、ファインフェスクのような寒地型芝との混合やオーバーシードに大変良く合います。

カッターには、土壌pHはおよそ6.5~7.0が理想的ですが、5.0~8.0の間でも十分に適応します。カッターは、排水の良いローム質の土壌で最高の芝質を保ちますが、粘土質や砂質の土壌にも、また排水の悪い水の溜まるような土壌にも良く適応します。

使用方法

非常に短期間にターフを形成することが、カッターには可能です。平均的な播種状況では、播種後5~10日で発芽し、3、4週間後には刈り込みに入ります。播種量は、80~120gをお薦めします。灌水や通常の管理などができるのであれば、いつでも播種することができますが、一般的には夏の終わりから秋の中頃、春の中頃から終わりまでの間が理想的です。